医療安全ニュース 12 期/7 号

リシンク（rethink）とは？

いらすとや HP より

- **リシンクとは？**

1. 「リシンク」とは、考え直す、再考するという意味の単語です。
2. 例えば、SNS（LINE、twitter、インスタ、Facebook、TikTok、etc.）などネット（世界中）に流れてしまった情報を完全に消去することはほぼ不可能であり、発信する前に一旦立ち止まることが必要とされています。LINE など友達登録が前提であるとか、グループ内のやりとりだから、といった理由で油断してはいけません。基本的に直接言えないような否定的な内容は書き込まないか、内容にかかわらず流す直前に「**リシンク＝これ本当に大丈夫？一度大きく息を吸って吐いて考える**」ことが必要です。
3. 医療の現場では患者さんに、「この薬を今投与して大丈夫？」、「検査手順は○○の次が△△だった？」など確認して再確認する、**リシンク＝医療行為を実施する前に作業内容を再考する**、ことが大切です。勿論正しいと判断出来れば変更する必要はありません。

- **今やろうとしている医療行為がなぜ必要なのか？**

1. 実施する医療行為が本当に正しいかどうか？は、実施しようとしている医療行為が**患者さんにとってなぜ必要なのか？を理解しておく**必要があります。
2. その為には病状把握･情報収集など様々な事前準備が必要となります。状況によってはもう少し深く突っこんでみたり患者さん自身に確認したり…、面倒だと思われるかも知れませんが、順序立てて整理すれば（そもそも必要ですし）思っているより手間はかかりません。

- **医療行為を実施する前にエラーを訂正出来る**

1. 人は誰でも間違えます、が、エラーを早々に発見し修正する工夫ができていれば、事故に繋がらず未然防止することが出来ます。その工夫の 1 つが**リシンクを意識する事**でもあります。
2. オーダーの発生元（医療現場ではほとんどが医師です）の情報にエラーがあるとそのエラーを発見し未然防止をする事は非常に難しいことです。オーダーどおりに医療行為を実施する前に**リシンクを意識**し、「A さんにこの流量の薬剤（昇圧剤･鎮静剤など）多すぎない？」、「明日手術 or 検査なのに絶食じゃないの？抗凝固剤服用？」、「絶食なのにインスリン？」など気付くことが出来ます。**気付けばしっかり納得できるまで再確認（念の為でも）する事でエラーを修正し患者さんにとって正しい医療行為を実施する**ことができます。

- **リシンクを意識する⇒リシる→リシってる？**

1. **リシンク**は、もうやっている、というスタッフも多いかと思われます。**できるだけいつも意識する**ことで、患者さんにとって正しい医療が実施できる安全な病院になります。今一度**リシンクを意識＝リシって**みませんか。

職員の皆様へ：お読みになりましたら下記へサインをお願いします。院内ラウンド時に確認させていただきます。